

質問要約

岡山県立岡山芳泉高等学校

総務

1 ふるさと納税について

県の財源は自主財源を中心に賄うのが理想だが、県の今年度当初予算の歳入では自主財源の割合は半分に満たない。ふるさと納税制度は自主財源を増やすための施策として有効だ。県へのふるさと納税額の近年の実績について、どのように認識しているのか。

また、県へのふるさと納税額を増やすため、ポイント還元制度を提案したい。少額の納入者にも一定割合のポイントを付与し、貯まったポイントを「晴れの国おかやま館」の通販サイトで、あるいは県内での旅行クーポンとして使用できるようにすれば、少額から何度も寄附しやすい仕組みになるのではないかと、併せて総務委員長に伺いたい。

総務

2 DV防止について

県では男女共同参画社会の実現のための施策としてDV防止を挙げており、電話相談や講演での啓発を行なっているが、自ら行動を起こせない人や社会から孤立している人、自分がDVを受けているという認識がない人などを救うには十分とはいえない。これらの人を対象とした施策を考えてはどうか、総務委員長に伺いたい。

金光学園高等学校

産労
警察

1 企業誘致における岡山県の魅力について

岡山県では、大学進学や就職などで県外に出ていく人が多い。若者に岡山県に戻ってきてもらう、または留まってもらうには、県内に魅力のある働く場所が必要だ。現在ある企業の職場環境を向上させることはもとより、若者が魅力を感じる企業の誘致に力を入れることが大切である。県では、企業誘致においてどのような取組を行っているのか、産業労働警察委員長に伺いたい。

産労
警察

2 精神障がいのある人の就業支援の取組について

身体障がい者に比べ精神障がい者は理解されづらく、増加傾向にありながらも十分に働くことができていると感じている。本人が四肢麻痺である心療内科の医師に、患者の中で精神障がいのある方の働き方について尋ねたところ、精神障がい者といっても様々で、それぞれに働きづらさの原因があることを知った。県では精神障がい者の就業の場の確保についてどのような取組をしているのか、産業労働警察委員長に伺いたい。

岡山県立和気閑谷高等学校

環文 保福

1 クリーンエネルギーの普及について

岡山県には、「岡山県太陽光発電施設の安全な導入を促進する条例」があり、災害防止など安全面の配慮はあるが、山を切り崩して太陽光パネルを設置しているところもある。クリーンエネルギーの利用と自然環境の保全の面で矛盾していると考え、県の考えを伺いたい。

また、日本最大級のメガソーラー発電所が美作市にあり、県内でもクリーンエネルギーが注目されはじめている。県全体で太陽光パネルが設置されることが多くなると思われるが、太陽光パネルの大量廃棄について県はどう考えているのか、併せて環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

環文 保福

2 ももっこカードの普及について

先日、岡山県には、子育て家庭を応援するため、「ももっこカード」という料金の割引やポイント割増が受けられるカードがあることを報道していた。しかし、インタビューを受けている人がカードの存在を知らなかったと述べており、また、私の身近にも知らない人が多かったことから、周知不足なのではないかと考える。ももっこカードはどれくらい利用されているのか。

また、約2,400店舗で協賛されているとのことだが、周知のためにどのような取り組みを行なっているのか、併せて環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

岡山県立倉敷青陵高等学校

文教

1 学校でのスマホ使用について

スマホやネットの使い方は講演会だけでなく、学校で生徒自身のスマホを使用し、その使い方を個別に指導することで、より実用的な学びとして身に付くと考える。学校でのスマホ使用に関しては、スマホでゲーム等を行う生徒が出てくるという懸念もあるが、円滑に保護者と連絡がとれる、学校指定のタブレット端末では自由にインストールできないアプリを用いた学習ができるといったメリットもあるため、学校内でのスマホ使用を許可してもよいのではないかと考える。各学校でのスマホ使用許可が促進されるためにも、学校での適切な場面においてスマホ使用がされるよう、県がマニュアルを作成してはどうか、文教委員長に伺いたい。

文教

2 グローバル人材育成に係る取組について

グローバル人材を育成するため、ホームステイや交流会などが行われているが、参加条件に高い英語力が設定されていたり、募集定員が少ない、参加費用が高額であるといった問題があり、希望者全員が参加できる状況にない。英語力に関しては、個人的な問題でもあるが、ホームステイ経験者によると、コミュニケーションの手段が英語になるため、日常的に英語を使用し、自然と英語力が向上するとのことであった。県では、募集定員を増やしたり、参加費用の一部を負担したりするなどの取組を行っているのか、文教委員長に伺いたい。

創志学園高等学校

農林

1 子どもが農業に関わる政策について

岡山県の基幹的農業従事者の平均年齢は71.5歳、高齢者率は82%と高齢化の進行は深刻な状況だ。また、ここ数年の新規就農者数は増加傾向にあるものの、将来の担い手として期待される49歳以下の人数は減少傾向にある。持続可能な力強い農業を実現していくためには、10代20代の若者の新規就農が不可欠であると考え。そのためには、子どもの頃から農業に関心を持ち、農業に関わっていく必要があると思うが、県としてどのような政策を行っているのか、農林水産委員長に伺いたい。

農林

2 農業の経営規模拡大について

岡山県の1経営体当たりの経営耕地面積は1.28haであり、全国平均の3.1haに比べて小規模だ。5ha以上の農業経営体は近年増加傾向にあるものの、雇用創出の効果や耕作放棄地の有効活用などを考えると、農業への企業参入を加速させるなど、農業の経営規模をより大規模にしていく必要があると考える。農林水産省は、大型機械を導入するための補助金などの支援制度を設けているが、県では企業の農業参入や農業の経営規模拡大に対してどのような支援をしているか、農林水産委員長に伺いたい。

岡山県立津山東高等学校

産労 警察

1 企業のデジタル化について

現在、岡山県ではデジタル化を進めており、小規模事業者もその流れの中にあるが、今までICTを取り入れてこなかった事業者がいきなりICTを活用するとなると、数回の説明で使用方法など、すべてのことを理解する必要がある。また、継続的にICTの研修を行うと事業者側にも多くの負担がかかってしまう。そのため、事業者にとって、相談ができる体制づくりが必要であると考え。県では、企業のデジタル化にどのような対策を行っているのか、産業労働警察委員長に伺いたい。

2 自動車の交通マナーについて

2021年のJAFによる「信号機のない横断歩道での一時停止率」という調査では、岡山県ではわずか10.3%の人しか守っておらず、全国で一番割合が低かった。その後、CM、ポスター、交通マナー教室などが行われ、2022年の調査結果は49.0%となり、前年より38.7ポイント上昇した。しかし、依然として交通マナーが良いとは言えず、交通マナーに関する呼びかけが届いていない人もいるのではないかと。こうした人たちにも呼びかけが伝わり、さらに交通マナーを守る人をより増やしていくために、今後、自動車運転手の交通マナーについてどのような対策を行っていくのか、産業労働警察委員長に伺いたい。

岡山県立玉島商業高等学校

1 子どもの運動不足について

コロナ禍における運動機会の減少やスクリーンタイムの増加により、運動不足の子どもが増加している。小・中・高校では、1人1台端末が導入されており、児童生徒の運動不足をより助長するのではないかと考える。幼少期の運動不足は、将来どのような影響を及ぼすのか。

また、県では、児童生徒の運動不足を解消するため、どのような対策をとり、どのような効果があったのか、併せて文教委員長に伺いたい。

岡山県立早島支援学校

1 施設等のバリアフリー化について

校外への外出時にストレスが少なく、スムーズな移動ができる街づくりを実現してほしい。例えば、建物のドアや通路を広く、エレベーターのサイズを大きく、また街中にたくさんある段差を少なくしてほしい。世の中には「車いす」に乗っている人以外にも、一目見ただけではわからない様々な障害を抱えて生活している人がたくさんいる。設備の改修や新しい建造物を作る時には、多角的な視点をもって改善してほしいが、県としてどのように取り組んでいくのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

2 障害者の社会参加に向けた取組について

この夏、歴史についての講演が倉敷市内の会場で開催され、そこに参加したかったが、席の事前予約ができず、車いす席は数席しか用意されておらず、講演への参加を断念せざるをえなかった。車いすだけでなく様々な障害がある人たちが、気がねなく様々な場で学べたり、余暇活動を楽しめたりできる社会にしてほしいが、県としてどのように取り組んでいくのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

岡山県立岡山御津高等学校

土木 1 中山間地域等の道路整備について

県は、中山間地域等における集落の拠点性を高めるため、地形や交通量など地域の実情に合わせた道路整備を実施しており、第3次生き生きプランの指標で、車がすれ違いにくい箇所や見通しが悪い交通難所を改善する目標値を設定している。目標達成のため具体的にどのように道路整備を行っているのか。

また、どのくらいの費用が必要なのか、併せて土木委員長に伺いたい。

土木 2 岡山後樂園の観光政策について

岡山後樂園の観光需要を回復させるため、岡山市等関係機関と連携した賑わいづくり等を積極的に行っていくことが重要だ。さらに、地元岡山の高校生として何かできることがあるのではないかと。入園者数の目標を達成するため、今後どう取り組んでいくのか。

また、高校生にどのような役割や協力を期待しているのか、併せて土木委員長に伺いたい。

清心女子高等学校

総務 1 若者の投票の推進について

若者の投票率が低く、令和4年7月の参院選において、岡山県では、70代の投票率が20代の投票率よりも30%高い。未来を担う若者の投票率を少しでも上げてほしい。現代社会の授業で投票を推進させる動画を視聴した。県もYouTube等を活用していると思うが、授業以外でそのような動画を自ら選んで視聴することはあまりない。より動画を視聴してもらうには、どのようなことをしたらいいと考えるか。

また、若者の投票を推進するためには、有名人が呼びかけることやSNSでの情報の発信、ネット投票の実施などがあると思うが、どのように考えるか、併せて総務委員長に伺いたい。

岡山県立岡山城東高等学校

文教 1 1人1台端末の活用について

GIGAスクール構想の実現に向け、県立高校の生徒1人1台端末が導入されているが、端末の活用については、授業間・学校間で差があるように感じる。先日、本校で行われたオンライン授業では、教員・生徒ともに「思っていたよりも集中できた」「時間を有意義に使えた」という肯定的な意見があった反面、「ずっと画面を見ていて疲れた」という否定的な意見もあった。県では、現在の端末の活用状況をどう捉え、活用が促進されるようどう取り組むのか、文教委員長に伺いたい。

文教

2 教員不足について

私たちは、「質の高い教育とは」というテーマで課題研究を行っている。SDGs 17の目標4「質の高い教育をみんなに」のターゲット4. cには、開発途上国などにおける質の高い教員の数を大幅に増加させるとある。これは、開発途上国だけの問題ではないと考える。本校では、先生方が会議などでいつも忙しくされており、生徒とゆっくり話をする時間が少ないと感じる。教員が多忙であることは、生徒が質の高い教育を受けることができなくなることにつながると思う。また、教員が多忙である理由の一つとして、教員が足りていないのではないかと考える。県では、この教員不足の問題をどう捉え、どのような対策を行っているのか、文教委員長に伺いたい。

岡山県立岡山東商業高等学校

環文 保福

1 災害時のペット同行避難について

平成30年7月、西日本豪雨が発生した際、行政主導では全国初とも言われるペット同伴の避難所が総社市に開設されたという記事を読んだ。同市は西庁舎など3カ所をペット同伴避難場所として開設したそうだ。今後、大きな災害が発生したときに備え、今以上にペットが安心して家族と避難できる仕組みをつくってほしいが、どのように考えるか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

環文 保福

2 介護人材の担い手確保対策について

県の令和3年度の高齢化率は31.0%と、全国平均28.9%を上回っており、さらに県総人口も平成17年度以降減少傾向にある。高齢者増加に伴い、今以上に介護職の需要も高まると考えられるが、介護職の求人を見ると「無資格可能」という文字が多く見られ、介護職の担い手不足が浮き彫りとなっている。担い手不足の原因は様々だが、介護職の平均収入の低さや働き方などに問題があるのではないかと考える。県としてどのような対策を行うのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

岡山県立玉野高等学校

産労 警察

1 地域未来投資促進法による支援について

岡山県と県内全市町村は「地域未来投資促進法」に基づき、「岡山県地域未来投資促進基本計画」を作成しており、承認要件として10項目の地域特性のいずれかを活用することとしている。しかし、実際に承認された「地域経済牽引事業」はものづくりに関わる地域特性を活用したものが多く、地域特性に偏りがある。承認数が少ない地域特性を活用した事業を支援するためには、どのような対応が考えられるか、産業労働警察委員長に伺いたい。

産労 警察

2 観光客数の安定した確保について

イベントが行われている時には観光客が増加するものの、イベントが終了すると観光客は減少してしまう。イベント時以外にも安定して観光客を呼び込むために、岡山県はどのような取り組みをしているのか。

また、注目されていない魅力を発掘し宣伝していくことや、新たな付加価値を見いだし観光資源として話題性を持たせることについて、併せて産業労働警察委員長に伺いたい。

津山工業高等専門学校

農林

1 豊かな森林への整備について

大雨などの際に大規模な二次災害につながったり、鳥獣被害が県内でも多く発生したりしているのは、山が荒れていることが原因ではないか。災害の発生を防ぎ、人と鳥獣が共存していけるような豊かな森林を整備していくことが重要だ。県としてどう考え、どのような政策を行っているのか。

また、その政策は現状どの程度の効果があり、成功していると言えるか、併せて農林水産委員長に伺いたい。

農林

2 林業分野におけるIoT等の活用について

岡山県の林業分野において、AIやIoTデバイスなどは、どのように活用されているのか、具体的な活用事例を伺いたい。

また、今後どのような活用を考えているのか、併せて農林水産委員長に伺いたい。

岡山県立鴨方高等学校

文教

1 岡山県立高等学校教育体制整備実施計画について

新聞記事やニュース等で「岡山県立高等学校教育体制整備実施計画」を知り、本校は定員割れが数年続いているため、母校の存続について危機感を抱いている。県立高校の再編整備について、様々な要望等もあると聞いているが、特に、中学生が高校を選ぶ上で選択肢の多い地域における小規模校の様々な状況や存在意義を見据えた上での対応等について、具体的にどのように考えているのか、文教委員長に伺いたい。

文教

2 地元自治体や企業等との連携・協働活動について

本校では、地域における学校の役割や存在意義等を意識しながら地元自治体や企業等と様々な連携や協働活動を行っている。これらの活動を通して、自分たちの学びを深めるとともに、地域の方々等に本校の活動内容や魅力を知っていただき、さらなる魅力化につなげたいと強く考えている。今後、県による高校への具体的な支援や自治体・企業等への働きかけがあるのか。

また、高校生や高校に期待することについて、併せて文教委員長に伺いたい。

文教

3 部活動の在り方について

部活動は、生徒の多様な学びの場として位置付けられ、その教育的意義も重要なものであり、多くの高校においては、学校の特色や魅力の一つとなっている。しかし、本校の部活動は活発であると言える状況でないため、部活動の活性化とともに、学校の魅力づくりにもつながるような部活動の在り方について検討したいと考えている。地域や学校等の状況を鑑みながら、地域の方と生徒と一緒にスポーツや地域に根ざした文化活動等を行うなど、地域交流やコミュニティの場となり得るような部活動の在り方も検討してみたい。文教委員長に伺いたい。

中国デザイン専門学校

環文 保福

1 文化の力を活用した地域活性化について

岡山芸術交流は岡山市や県が地域活性を目的として推進している事業だが、現代アートが地域活性につながるとはどういうことかという疑問が出てきた。例えば、岡山駅前のイオンモールはたくさんの魅力的な店舗があり、消費活動も盛んに行われるので、経済的な地域活性につながると思う。しかし、岡山芸術交流は高校生以下は無料のため、小学生中学生を何千人集客しても利益にならない。利益が全てではないことはわかるが、現代アートなどの「文化の力を活用した地域活性化」とは、最終的にどのようになれば成功と考えているのか。文化に着目した目指す岡山の姿と、それに向けた県の取組について、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

岡山県立岡山朝日高等学校

総務

1 県財政の長期的展望について

第3次生き生きプランでは「教育県岡山の復活」が重点戦略となっている。将来、新しい産業の創出や社会の発展、県の財源確保に貢献していく若者への支援に対し、継続して十分な予算を計上していくことが必要だ。生涯設計に際し大きな位置付けとなる10代の若者の健全な育成や支援のための歳出を含めた、総合的な予算や財源の確保について、今後の長期的展望を総務委員長に伺いたい。

総務

2 ボランティアへの支援等について

第3次生き生きプランの県民満足度調査における「ボランティアやNPOなどが活発に活動できる環境になっている」という項目の満足度は3.08で5位と、他の項目と比較して低くはないが、校内アンケートの回答ではボランティアをしたいができない人が多く、その理由として、参加方法がよく分からないと回答する人の割合が多かった。ボランティアを募る側、参加する側双方に対し、支援や情報の周知に関して、広報の方法も含め、積極的な対策が必要だ。県のこのような状況に対する考えや具体的な対策について、総務委員長に伺いたい。